

「総合戦略(～2019)」の総仕上げ ～更なる好循環へ～

H31. 1. 31 SDGs全国フォーラム2019



項目

- 1 我が国の人口状況
- 2 徳島県の人口ビジョン
- 3 「産学官金労言」で推進！「地方創生“拳県一致”協議会」
- 4 「総合戦略(～2019)」の総仕上げ ～更なる好循環へ～
 - ▶【基本目標1】ひと ～新しい人の流れづくり～
 - ▶【基本目標2】しごと ～地域における仕事づくり～
 - ▶【基本目標3】子育て ～結婚・出産・子育ての環境づくり～
 - ▶【基本目標4】まち ～活力ある暮らしやすい地域づくり～
 - ▶ 特記 SDGsの推進による「地方創生」の深化
- 5 市町村版「総合戦略」の“総仕上げ”を支援！

1 我が国の人口状況

(1) 人口減少の進行

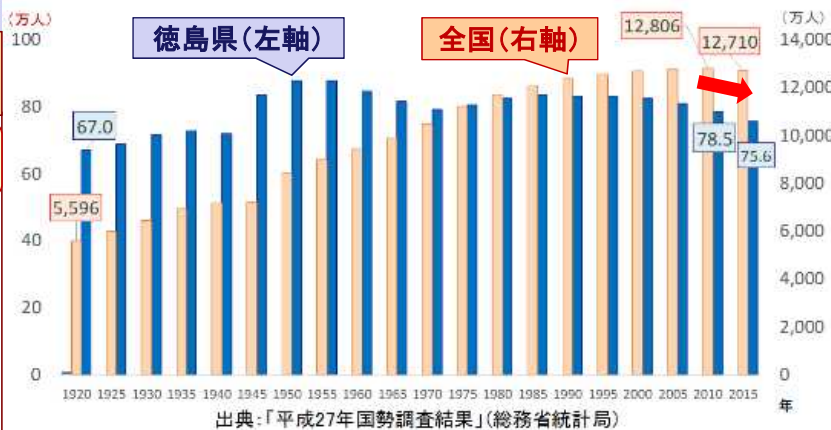
■人口の推移

(平成27年国勢調査:平成27年10月1日現在)

- 我が国の総人口は **1億2,709万5千人**で、**H22(前回)比で96万3千人(0.8%)減**
- **大阪府も戦後初めて減少局面へ**
- 本県は前回比**29,758人(3.8%)減**の**755,733人**に

※総人口が減るのは調査開始以来初

人口の推移(全国・徳島県)



(2) 加速する「東京一極集中」

■人口移動の状況(総務省「住民基本台帳人口移動報告平成30年結果」)

- 東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)は**13万9,868人(外国人含む)**の転入超過で、東京一極集中が**“大幅に加速”** ※東京圏への転入超過は**“23年連続”**
- 転入超過数は、前年比**1万4,338人増加**(H29年は前年比1,911人増加)

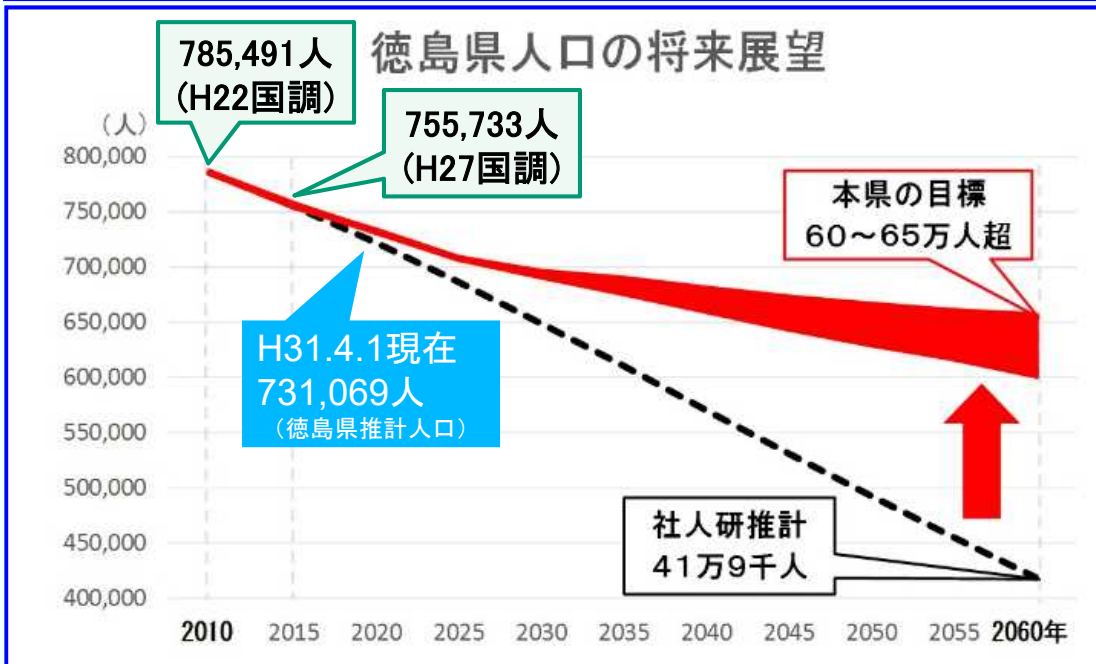
「人口減少の克服」や「東京一極集中の是正」は“待ったなし”の状況

だからこそ...

更なる「地方創生」の加速が不可欠!

2 徳島県の人口ビジョン

(1) とくしま人口ビジョン



直近状況

自然動態

※平成30年厚労省「人口動態統計」速報値(6月7日公表)

- 2018年の本県の合計特殊出生率は「**1.52**」前年比**0.01ポイント上昇**

H7年(1.52)以来
20年ぶりの「**1.5台**」
を4年連続で維持

※全国は前年から0.01ポイント低下し**1.42**

社会動態

※徳島県推計人口月報

- 進学・就職等を機とした社会減は継続しており、H30年度の転出超過幅は**微増**

転出超過数(年度・人)は
H29・1,883 → H30・1,923
で、前年度からは
40人(2.1%)拡大

2060年目標の推計条件

【自然動態】

合計特殊出生率の上昇
2025年:1.80へ
2030年:2.07へ

【社会動態】

転出超過を解消
2020年:転入・転出を均衡
2025年以降、転入超過を目指す

2060年への
“挑戦は続く”

(2) 県内市町村の「人口ビジョン」

- 県内全24市町村が策定した「人口ビジョン」における「人口目標」を積み上げると、2060年の合計人口は「63万500人」※

※2040年を対象期間とする

4市町（三好市・上勝町・北島町・上板町）の目標値を2060年も据え置いた場合

▶ 県の「人口目標」

60～65万人超

▶ 市町村の「人口目標」の合計

63万500人

2060年に向け、県及び市町村が同じ方向性！

スタートダッシュとなる5年間の取組みを“拳県一致”で！

3 「産学官金労言」で推進！「地方創生“拳県一致”協議会」

地方創生“拳県一致”協議会（H27.1.30発足）

「産学官・金労言」の各界代表者からなる「地方創生の実現」に向けた取組みの推進母体（委員36名）

【主な役割】

- 「地方版総合戦略」の推進
- 「『住んでみんで徳島で！』県民会議」の行動
- 国へのタイムリーな政策提言 等

令和元年・総仕上げを
拳県一致で推進！



H30.2.8:徳島県庁

働き方改革の一環として、「ペーパーレス会議」にて実施！

「KPI」を基に、「PDCAサイクル」による検証と改善を実施

PLAN（計画・改訂）

「地方創生“拳県一致”協議会」や県議会による論議、県民意見を聴取の上、計画策定

DO（実施）

「総合戦略」に示した具体的な施策・事業を遂行

ACTION（改善）

外部有識者による評価結果を踏まえ、施策の見直しや「総合戦略」の改訂

CHECK（評価）

担当課による自己点検・評価及び「県政運営評価戦略会議」による第三者評価

総合戦略を推進

- 「総合戦略」のH27～29年度の取組等に係る評価結果を踏まえた改善見直し

※評価結果(主要事業131事業)

- ・A(順調) 99事業(75.6%)
- ・B(概ね順調) 23事業(17.5%)
- ・C(要見直し) 9事業(6.9%)

4 「総合戦略(～2019)」の総仕上げ ～更なる好循環へ～

vs東京「とくしま回帰」総合戦略[2015～2019]

1 ひと

目標

- 転入・転出者数：1,723人の転出超過(2015.4.1) ⇒ 均衡へ(2020年)
- ▶ 2018年度：1,923人転出超過



「若者回帰」に向けた洋上セミナーの開催

2 しごと

目標

- 雇用創出数：5年間で4,000人
- ▶ 2015～2017年度：2,058人




LEDプロジェクションマッピング

3 子育て

目標

- 希望出生率(1.8)を叶える(2025年)
- ▶ 2018年：1.52



とくしま在宅育児応援クーポン

4 まち

目標

- 徳島版地方創生特区：5年間で10区
- ▶ 現在：7区



農村舞台100年ぶりの復活

好循環

人口減少の克服!

東京一極集中是正!

「一億総活躍社会」の実現
日本創生へ!

「PDCAサイクル」による検証と改善!

【KPI】 171
20追加 → 191へ

「総合戦略」策定後の情勢の推移を踏まえ、
新たな施策・事業を追加・拡充!
令和元年 7月改訂
“進化する”総合戦略!!

令和元年度 地方創生関連予算【506億円】

対前年度 17億円増

平成30年度2月補正 18億円
骨格予算 418億円
肉付け予算 70億円

「未知なる世界」に挑戦する4本柱

～「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」の総仕上げ～

徳島は宣言する VS東京

新しい人の流れづくり

- 地方大学・地域産業創生事業 1,370,000千円 (政創)
- とくしま産学官連携プラットフォーム形成推進事業 11,050千円 (政創)
- Road to 2020! 「vs東京」実践加速事業 33,000千円 (政創)
- 「AWA TURN」躍進プロジェクト 50,000千円 (政創)
- 働き方・ビジネスを変える! 徳島ワーク新次元展開事業 14,800千円 (政創)
- 新たな地域づくりの担い手! 「徳島ファン」創出加速化事業 5,000千円 (政創)
- とくしま林業アカデミー運営支援事業 45,000千円 (農林)
- とくしま漁業アカデミー運営事業 24,400千円 (農林)
- 「とくしま・移住・DIY」空き家利活用促進事業 3,900千円 (県土)
- みなみで総活躍! まち・ひと・しごと次代継継事業 13,000千円 (南部)
- にし阿波型ワーケーション強化発信事業 7,000千円 (西部)
- 二地域居住を加速する「デュアルスクール」実証事業 6,335千円 (教育)

地域における仕事づくり

- とくしまIoT・AI等ソリューション実装事業 10,000千円 (政創)
- 世界とつながる3大国際スポーツ大会・キックオフプロジェクト 455,000千円 (県環)
- 次世代“光”産業創生事業 53,200千円 (商労)
- 「Visit Tokushima」千客万来事業 70,000千円 (商労)
- クリエイティブ産業育成事業 74,000千円 (商労)
- 「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト 24,000千円 (商労)
- 「阿波ふうどツアーリズム」食の魅力発信事業 15,000千円 (農林)
- 「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業 31,400千円 (農林)
- 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」推進事業 90,400千円 (農林)
- 新未来航空ネットワーク形成事業 115,800千円 (県土)
- 文化・スポーツ魅力創造事業 29,000千円 (南部)
- インバウンドで飛躍「桃源郷にし阿波」魅力強化事業 39,000千円 (西部)

ひと しごと
子育て まち
好循環

結婚・出産・子育ての環境づくり

- 子ども・子育て支援新制度推進交付金事業 84,140千円 (県環)
- 阿波っ子はぐくみ保育料助成事業 270,000千円 (県環)
- 認定こども園整備事業費補助金 620,801千円 (県環)
- とくしま在宅育児応援クーポン事業 50,000千円 (県環)
- 子育て支援サービス基盤強化事業 4,000千円 (県環)
- 子どもの居場所づくり推進事業 8,500千円 (県環)
- 女性活躍ステージアップ事業 4,300千円 (県環)
- アクティブ・シニア保育現場就労促進事業 18,610千円 (県環)
- 柔軟な働き方「テレワークするんじょ!」事業 23,000千円 (商労)
- すだちくんハローワーク運営事業 15,800千円 (商労)
- 企業主導型事業所内保育施設開設サポート事業 3,300千円 (商労)
- 徳島版マイスター制度ステップアップ事業 15,000千円 (商労)

活力ある暮らしやすい地域づくり

- 新次元の消費者行政・消費者教育実装促進事業 41,500千円 (危機)
- 「拳県一致」消費生活安心プロジェクト 52,800千円 (危機)
- 消費生活センター「戦略拠点機能」強化事業 153,500千円 (危機)
- 未知への挑戦! 「とくしま回帰」交付金 39,000千円 (政創)
- 外国人材による地域おこし活動推進事業 39,500千円 (政創)
- 健康長寿・人生100年時代への挑戦 「打糖!!糖尿病」応援推進事業 32,800千円 (保福)
- とくしま農福連携ネットワーク加速化事業 5,000千円 (保福)
- 障がい者スポーツ交流支援事業 6,075千円 (保福)
- 地域とつなぐ! 在住外国人支援事業 25,100千円 (商労)
- 新未来創造・高校生育成プロジェクト 9,600千円 (教育)
- 18歳! 新成人への学びプログラム事業 16,200千円 (教育)
- Tokushima英語村プロジェクト エンジョイ! コミュニケーション事業 14,200千円 (教育)
- 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業 9,800千円 (教育)

(注)記載事項は主なもののため、合計額は一致しない。

地方創生の加速

一億総活躍社会の実現

日本創生へ

【基本目標1】ひと ～新しい人の流れづくり～

● 主な施策【重要業績評価指標（KPI）】 ※枠内は施策の進捗状況



(ア) 住みたい・働きたい「とくしま回帰」の加速

➢ 移住交流の推進・「徳島ファン」の創出・拡大

- 「情報発信」→「移住相談」→「魅力実感」→「移住実現」の各ステージにおける“切れ目のないサポート”を充実・強化
- 若者目線の情報発信：県内外の大学生・高校生を「アンバサダー」に委嘱
- 体験型見学会の実施や地域とファンとのマッチング支援により新たな地域の担い手「徳島ファン」の創出・拡大



【移住者数：H25・80人 → R1・1,600人】 **H30：1,402人**

R1年度 → 「若者目線」での情報発信、移住者の就業・起業支援など施策の更なる充実・強化！

➢ 農林水産業にチャレンジする新規就業者の拡大

- 農林水産各分野のアカデミーの再構築による「とくしま農林水産未来人材スクール」を開設
- 農林水産業を目指す若者、女性、アクティブシニア、障がい者等のキャリア形成とスキルアップ支援



【農林水産業新規就業者数（5か年の累計）：H25・149人 → R1・1,487人】 **H29：879人**

R1年度 → 農林水産業の成長産業化と人材育成・確保対策を一層強化！ 9

(イ) 「とくしま回帰」を呼び込む拠点機能の強化



➢ 政府関係機関の地方移転を推進

- 消費者庁等の「徳島への全面移転の実現」に向けた取組みを“拳県一致”で推進
- 【政府関係機関の本県への誘致：H27提案】 **H30：推進**



R1年度 → 「新次元の消費者行政・消費者教育」徳島モデルを全国発信！

➢ サテライトオフィスのさらなる展開

- サテライトオフィス進出企業（13市町村65社）の取組み支援
- コワーキングスペースを核とした「ビジネス創出」支援や人材育成による多様な「人材集積と交流促進」

【コワーキングスペース利用者数の拡大：H29・1,500人 → R1・1,900人】 **H29：1,500人**



R1年度 → サテライトオフィスの「新次元展開」の深化を図る！

(ウ) 若者の「とくしま回帰」を生み出す大学等の活性化



➢ 若者の地元定着促進

- 地域経済を支える産業人材を確保するため、県内企業に一定期間就業した際に、奨学金の返還を支援

対象を短大、専修学校生（専門課程）まで拡大

【奨学金返還支援制度を活用した県内就職者数：H25・(-) → R1・130人】 **H29：124人**



R1年度 → 産学官連携や東京圏大学との相互対流・還流による取組みを強力に展開！ 10

【基本目標2】しごと ～ 地域における仕事づくり ～

● 主な施策【重要業績評価指標（KPI）】 ※枠内は施策の進捗状況

（ア）地域産業の未来に向けた競争力の強化

➢ 「2つの光+α」がリードする地域イノベーションの加速

- 「LED」と「光ブロードバンド環境」の「2つの光」を活用し、情報通信関連産業等の集積により地域活性化を図る
- 海外大規模展示会、東京常設展示場などで強力にPR

【クリエイティブ関連企業数：
H25・161社(者) → R1・270社(者)】 **H30 : 251社**



フランス・メゾン・エ・オブジェ2019



LED・藍関連製品「東京常設展示場」
(H30.5月リニューアル)

R1年度 → 本県の優れた立地環境と、県内企業の高い技術力を世界に向けて発信！

➢ もうかる農林水産業の推進

- 東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプ誘致や食材供給を通じ、本県農畜水産物の認知度向上、販路拡大を推進
- IoTやAI等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする技術開発と現場への実装を推進

【農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数：H25・14件 → R1・50件】 **H30 : 40件**



「とくしま安2GAP農産物」
優秀認定生産者



AIによる熟度判定システム
(開発中)

R1年度 → 意欲的な取組みを後押しし、本県農林水産業の成長産業化を加速！

（イ）戦略的な観光誘客の推進

➢ 「訪日外国人4000万人時代」に向けた取組み

- 外国人観光誘客や対日投資の推進を図るため、DMO法人等との連携を強化し、観光コンテンツの効果的なプロモーションや受入環境を整備

【年間の延べ宿泊者数： **H29 : 230万人**
H25・226万人 → R1・255万人】

【外国人延べ宿泊者数： **H29 : 102,810人**
H25・3.2万人 → R1・11.7万人】



R1.9.8~9.16
ジョージア「事前チームキャンプ」実施



H30.12.19
徳島-香港線季節定期便就航記念セレモニー

R1年度 → 「インバウンド4000万人時代」を見据えた戦略的観光誘客を推進！

（ウ）地域産業の飛躍を支える人づくり

➢ 地域を支える産業人材の育成

- 実践的なICT人材の育成や地場ICT産業の持続的な発展、徳島を拠点としたワーキングスタイルの確立につなげるため、「ICT（愛して）とくしま大賞」など、効果的なICTイベントを実施

【ICT（愛して）とくしま大賞
応募作品の利活用件数（5か年の累計）：
H25・(-) → R1・75件】 **H30 : 65件**



H31.2.15-16
「とくしまICTパズル Vol. 4」

R1年度 → ICT人材の育成と発掘に向けた取組みを展開！

【基本目標3】子育て ～ 結婚・出産・子育ての環境づくり ～

● 主な施策【重要業績評価指標（KPI）】 ※枠内は施策の進捗状況

（ア）ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化

➢ 若い世代の結婚の希望をかなえる

- 結婚支援拠点「マリッサとくしま」を核とし、縁結びボランティア等を活用した、よりきめ細やかな結婚支援を実施
- 一人一人に寄り添った適切なアドバイスをを行う、専門のアドバイザーによる個別相談会の開催

【婚活支援応援企業・団体登録数：
H25・(-) → R1・300社】

H30 : 298社



マリッサとくしま婚活イベント

R1年度 → 「マリッサとくしま」を核とする結婚支援を展開加速！

➢ 出産・子育てを応援する

- 多子世帯の経済的負担を軽減するため、「3歳から5歳の第2子」及び「第3子以降」の保育料を無料化
- 子育て支援サービスを利用できる「とくしま在宅育児応援クーポン」を交付する市町村を支援

【多子世帯の保育所・幼稚園
「保育料無料化制度」の創設：H27創設、H30拡充】

H30 : 保育所24市町村、幼稚園18/19市町



H30.5.31「日本創生のための将来世代
応援知事同盟サミットinみやぎ」

R1年度 → 子育て家庭の経済的・心理的不安感の解消に向け引き続き支援！

13

➢ 世代を超え地域で支える子育て社会の実現

- 「徳島県版『保育助手』制度」の導入による、アクティブ・シニアの保育現場での就労支援

【子育て支援員の認定数（累計）：H25・(-) → R1・1,000人】

H30 : 833人



R1年度 → 意欲ある高齢者の人材育成と保育現場への就労支援

（イ）若い世代の正規雇用のさらなる拡大

➢ 若い世代の正規雇用のさらなる拡大

- 全公立高校を対象に、資格取得の促進、企業見学やインターンシップの拡充を図り、生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的能力の向上や勤労観・職業観を育成

H30 : 100.0%

【高校におけるインターンシップの実施率（全日制・定時制）：H25・82.9% → H30・100.0%】

R1年度 → 受入施設の拡充等により、更なるインターンシップ実施率向上を目指す！

（ウ）仕事と子育てが両立する働き方の実現

➢ テレワーク導入による新たな働き方の「とくしまモデル」創出

- 働き方の多様化に対応するため、テレワークセンターを設置し、テレワークを普及

H30 : 72事業所

【県内でテレワークを実施する事業所数（トライアル実施を含む）
（5か年の累計）：H25・(-) → R1・100事業所】



H30.7.24「とくしま藍の日」&
「テレワーク・デイ」記念シンポジウム

R1年度 → 県内の「働き方改革」推進に向け、具体的実践を加速！

14

【基本目標4】 まち ～ 活力ある暮らしやすい地域づくり ～

● 主な施策 【 ■ 重要業績評価指標（KPI） 】 ※枠内は施策の進捗状況

（ア）課題解決先進地域づくりの加速



➤ 地方創生の推進力となる「規制改革会議」の設置

- “全国初”となる「徳島県規制改革会議」を設置し、「消費者目線・現場主義」による規制改革を強力に推進
- 「第3次提言」に基づき、
 - ・公務員の社会貢献型副業の促進
 - ・農地取得下限面積の緩和（石井町）
 - ・「徳島県子どもの居場所づくり推進会議」の設置、ガイドライン策定

H30 : 推進



H30.9.13 徳島県規制改革会議「第3次提言」

R1年度 → 「消費者目線・現場主義」の更なる徹底による規制改革を推進！

➤ 「知恵は地方にあり」の具現化

- 国想定2040年を10年前倒しし、「2030年」における本県「自治体行政のあり方」を検討・研究
- 「圏域行政」の推進と県・市町村の「二層化の柔軟化」
- スマート自治体への転換
- 新たな「公共私」相互間の協力関係を構築

H30 : 80%



H31.3.26 第32次地方制度調査会による県内での現地調査

【 ■ 地方創生に関する政策提言の実現比率：H25・(-) → H30・80% 】

R1年度 → 「とくしま自治体戦略2030構想研究会（仮）」の設置

（イ）多様な人材が輝く地域づくりの加速



➤ 障がい者が支える社会へ

- 障がい者が高齢者に対し、日用品の移動販売や見守り活動を行う、「障がい者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない”事業」の展開により、地域貢献活動を推進

【 ■ 実施市町村数：H25・(-) → R1・12市町村 】

H30 : 12市町村



障がい者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない”事業

R1年度 → 実施事業者の確保と事業内容の改善・進化を図る！

（ウ）時代に合ったふるさとづくりの加速



➤ 多世代交流・多機能型拠点の形成

- 子どもや高齢者、障がい者などが集う「ユニバーサルカフェ（多世代交流・多機能型）」の普及促進

【 ■ ユニバーサルカフェ（多世代交流・多機能型）認定箇所数：H25・(-) → R1・14箇所 】

H30 : 12箇所



H31.3.14 徳島県版ユニバーサルカフェ認定証交付式

R1年度 → 地域で支えあう環境の充実・拡大を図る！

（エ）安心して暮らせる地域づくりの加速



➤ 暮らし安全の実現

- 全国モデルとなる「消費者市民社会」実現に向け、ライフステージに応じ、消費者として必要な知識が体得できるよう、県民総ぐるみで消費者教育を強力に推進

【 ■ とくしま「消費者教育人材バンク」登録実施団体数：H25・(-) → R1：40団体 】

H30 : 32団体・個人

R1年度 → 全国に先駆けた「新次元の消費者教育」を展開！

▶特記 SDGsの推進による「地方創生」の深化①

徳島版「SDGs」の取組み

カンボジア-日本友好学園 (徳島商業高校)



- ・フェアトレード商品開発
- ・販売利益で教員4名の雇用を維持
- ・カンボジアに「食品加工場」建設
- ・H29カンボジア首相から「勳章」授与
- ・H30「内閣総理大臣表彰」受賞

エシカル・カフェの運営 (吉野川高校)



- ・「スクールカフェ吉野川」でフェアトレード、オーガニック商品のスイーツを提供
- ・「フードロス削減プロジェクト」も実施

阿波藍の6次産業化 (城西高校)



- ・「阿波藍」の生産、加工、商品開発そして販売までの6次産業化の取組み
- ・藍染め商品や食用藍を使用した「和菓子」「洋菓子」の商品開発

ゼロ・ウェイスト (上勝町)



- ・2016年:リサイクル率81%達成
- ・2018年:「SDGs未来都市」に選定
- ・2019年:NPO法人理事長がダボス会議共同議長に!

フードハブ・プロジェクト ((株)フードハブ・プロジェクト)



- ・農業と食文化を次世代に継承することを目的としたプロジェクト
- ・「地産地食」レストラン「かま屋」の経営運営

神山しずくプロジェクト (キネストコープ社)



- ・山の保水力を取り戻し、豊かな自然を次世代に継承するプロジェクト
- ・杉間伐材を利用した商品開発により、「新たな価値」を付加

本県の成果を発信!

SDGs全国フォーラム2019



日本のSDGsモデル
を世界に発信!

さらに、令和元年度は!

▶特記 SDGsの推進による「地方創生」の深化②

徳島版「SDGs」の取組みを全国・世界に向けて強力に発信!

とくしまから広げる
新しい消費のカタチ
The new way of consumption
spreading out from Tokushima.

- ・消費者庁と徳島県の共催
- ・G20大阪サミットのサイドイベント
- ・消費者問題への対処やSDGsの推進等、各国が共通して抱える政策課題を議論

G20

消費者政策 国際会合

G20 International Conference
on Consumer Policy

2019
9/5(金)・6(土)
TOKUSHIMA

主催 消費者庁 Consumer Affairs Agency, Government of Japan
徳島県 Tokushima Prefectural Government

第3回食品ロス削減全国大会

10月30日
徳島市で開催

主要テーマ

- ・環境や社会に配慮した「エシカル消費」
- ・食品関連事業者による「ICT活用による食品ロス削減」

エシカル甲子園2019

12月26・27日
徳島県で本選開催

～私たちが創る持続可能な社会～

大会概要

エシカル消費の推進に積極的に取り組んでいる高校生等が、その取組に関する発表を行い、優れたものについて表彰します。

全国募集開始	4月15日
参加申込締切	6月10日
応募書類提出締切	8月30日
予選(書類審査)	9月中旬
本選出場校12校決定	9月30日

「SDGs」を原動力とした「地方創生」の加速 ⇒ 「持続可能な社会」の実現へ!

5 市町村版総合戦略の“総仕上げ”を支援！

財政的支援

国

- **地方創生推進交付金**
(地方の創意工夫を凝らした取組みを複数年度にわたり継続的に支援)
- **地方創生拠点整備交付金**
(地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な施設整備を支援)

県

- **「とくしま回帰」交付金**
(総合戦略の総仕上げに向け、市町村や民間事業者等の意欲的な取組みへの支援を充実・強化)
- **地方創生推進資金（貸付金）**
(県独自で、市町村の総合戦略の推進に資する取組みを支援)

人的支援

- 県職員が各市町村のカウンターパートとなる市町村とのワンストップ型の連絡相談体制（H27.1構築）
- 市町村の希望に応じ、総合戦略の「PDCA」にも参画

情報支援

- 地域経済分析システム（リーサス）の活用実践に向けた情報提供・助言

「徳島県全体で成果の好循環」を生み出すよう、引き続きしっかりとサポート！

19

「総合戦略(～2019)」の総仕上げ ～更なる好循環へ～

「課題解決先進県・徳島」の誇りを胸に、
「一步先の未来」を具現化し、
全国へ発信！

新たな“価値観”

新たな“処方箋”



未知の世界へ挑戦！
拳県一致で「地方創生」の実現へ！

20